

2009年8月7日

## ボストンサイエンティフィックジャパン 経尿道的尿路結石破砕術をサポートする4種類のデバイス発売

ボストン・サイエンティフィックジャパン(株) (東京都新宿区西新宿 1-14-11・日廣ビル) はこのほど、経尿道的尿路結石破砕術 (TUL) をサポートするジップワイヤー (ZIPwire)、ナビゲーター (Navigator)、エスケープ (Escape)、ゼロチップ (ZeroTip) の四種類のデバイスを発売した。

これらのデバイスは、以下の機能で TUL をサポートする。

▽ジップワイヤー=親水性コーティングとナイチノール構造により、通過性に優れ、正確なトルク伝達で確実な手技を可能にするガイドワイヤー。

▽ナビゲーター=軟性尿管鏡にも対応し、TUL をよりスムーズに行えるアクセスシース。

▽エスケープ=キャッチ&リリースに優れ、結石をしっかり捕捉するナイチノールバスケット。

▽ゼロチップ=1・9 フレンチが新たにラインアップされ、軟性尿管鏡にも対応するバスケット。

近年、日本において尿路結石患者数が増加を続けている。年間罹患率 (人口 10 万人対) は、男性 1965 年 64、1995 年 118、2005 年 192 と増加が顕著である。また、女性でも 1965 年 24、1995 年 46、2005 年 79.3 と、この 40 年で 3 倍に増加し、特にこの 10 年の増加が著しいことがわかる。

その対処方法の一つである結石破砕術には、体外衝撃波結石破砕術 (ESWL) と TUL が多く用いられている。ESWL は複数回実施するケースが多いのに対し、TUL は 1 回の手技で終わることができる。欧米では、すでに TUL の治療効果が認められており、2007 年には AUA (米国泌尿器科学会) /EAU (欧州泌尿器科学会) にて結石治療ガイドラインが改定されている。

今回、発売された 4 種類のデバイスは、患者にとって大きなメリットがある TUL を強力にサポート、患者の QOL をより向上させるものと期待されている。

[ 病院新聞 ]